

4日目 7月16日

会 場： 松江市営野球場

第2試合	～2回戦～																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
松江工業	1	0	1	0	0	1	0	0	0							3	5	2		
松江高専	0	0	0	0	0	0	0	0	1							1	5	1		
(投手-捕手)																				
・ (松工)	藤江→石倉翔 - 宮廻																			
・ (高専)	脇田→郷原 - 中谷																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (松工)	安達						宮廻													
・ (高専)																				
(審判) [球審]	石本			〔一塁〕 瀧隆				〔二塁〕 飯塚				〔三塁〕 宮森謙								
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(松工)	40	5	2	1	1	0	7	10	4	0	10	1			2	0	0	0		0
(高専)	34	5	1	0	0	0	7	1	1	0	6	0			1	3	0	1		0

「松江工業、4番青木の勝負強さ光る！」

大会4日目松江会場の第2試合は松江市内の学校どうしの対戦となった。雷鳴や降雨による長時間の中断を挟み難しいコンディションの中、試合は終盤までもつれる接戦となった。

1回表、松江工業は2死から3番宮廻が左中間を破る3塁打を放ち好機を作ると、続く4番青木がレフトへの適時打を放ち先制点を挙げる。3回表にも、この回先頭の1番安達が左中間への2塁打を放ち、犠打と三振で2死3塁とし再び4番青木のライトへの適時打で追加点を挙げる。松江工業は、その後も6回表に相手守備の乱れる間に追加点を挙げた。

対する、松江高専は8回まで松江工業の先発、脇田の丁寧な投球と、守備時の四死球の多さから流れが作れず得点を挙げる事が出来ない。それでも9回から継投した2番手を攻め相手守備のミスと安打で2死1・2塁とし、6番渡部がライトへ意地の適時打を放つが反撃もここまでだった。最後は内野ゴロに打ち取られ、松江工業が3回戦へと駒を進めた。

